

2026 年 10 月 9 日

各 位

会 社 名 フィットイージー株式会社
代 表 者 名 代表取締役社長 國 江 仙 嗣
(コード番号: 212A 東証プライム・名証プレミア)
問 合 せ 先 常務取締役経営管理本部長 藤 原 祐 次
TEL.058-215-8744

「顔認証コンディションチェック機能」始動

AI×顔認証でその日のコンディションを可視化する新機能を追加したアプリアップデートのお知らせ

当社は、AI を活用したヘルスケア領域における健康管理システム「AI ヘルスケアオートメーション」の仕組みにより「健康の自動化」を提供するウェルネスアプリ「F.E アプリ」において、店舗入館時の顔認証をもとにAIがその日のコンディションをスコア化して可視化する「顔認証コンディションチェック機能」を追加し、提供を開始いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。



顔認証コンディションチェック 始動!

あなたの表情から、AIが今日のコンディションチェック

今のあなたに合わせた提案で、怪我の予防・疲労軽減を実現

- 今日のコンディションを自動でスコア化
- AIがあなたにぴったりのトレーニングを提案
- 来館時に役立つ情報も一目でチェック可能

おはようございます
最高の1日を過ごしましょう

顔認証コンディションスコア
Excellent!
92
前週比+5

明るくリラックスした良い表情ですね。
トレーニングの強度を上げていけそうですね!

トレーニング提案
今日は高強度のインターバルトレーニング (HIIT) がおすすめです。
表情から、身体も十分に回復していると判断できます。HIITは短時間で効果的なカロリー消費と体力向上に役立ちます。

コンディション改善案
十分な水分補給とバランスの取れた食事を心がけてください。
継続して健康的な食事と水分補給を維持することで、今日の好調な状態を維持できます。

アプリで今すぐ体験!

App Store からダウンロード

GET IT ON Google Play

1. 本件の概要

当社はこれまで、更なるウェルネスアプリとしての機能拡充及びアプリ利用者の皆様のご要望にお応えし、アプリのアップデートを行ってまいりました。

トレーニングの効果を高め、健やかな状態を維持するためには、その日のコンディションに応じた適切な運動量の調整が重要です。しかしながら、日々の細かなコンディションの変化は会員様ご自身でも自覚しづらく、無理な運動が怪我や疲労の蓄積につながるおそれがあります。

このような課題認識のもと、当社は、これまで入館時のセキュリティ手段として活用してきたAI 顔認証システムに着目し、「入館時の顔認証」を「その日の自分を知る契機」へと再定義いたしました。この度、その取り組みの一環として、日常の入館フローの中で自動的にコンディションを分析する「顔認証コンディションチェック機能」を F.E アプリに追加いたしました。

2. 新機能の特徴と期待される効果

■新機能の特徴

(1) 顔認証によるコンディションの可視化	
店舗入館時に撮影された顔写真から、表情、目元の状態、口角の上がり具合等の要素を AI が瞬時に解析し、その日のコンディションを 100 点満点でスコア化します。 直近の推移データもグラフで確認でき、ご自身のコンディションの変化やリズムを一目で把握することができます。	
(2) AI による一人ひとりの状態に応じた最適な提案	
コンディションスコアに応じて、AI がトレーニング提案（強度や扱う重量の調整等）及びコンディション改善案（水分補給・食事のタイミング等）を個々に提案します。	
(3) 店舗利用時に必要な情報を集約したダッシュボード表示	
アプリのホーム画面に、当コンディションスコアに加え、当日のアミューズメントサービスの予約状況、AI 顔認証体組成計の計測状況、過去 1 週間の来館頻度等、来館時に必要な情報を集約して表示します。	

■期待される効果

本機能により、会員様は特別な操作をすることなく、日常の入館フローの中でその日のコンディションを客観的なデータとして把握することができます。

コンディションに応じた運動量の調整を通じて、怪我や疲労の蓄積に配慮しながら安心してトレーニングを継続できる環境を提供するとともに、来館時に F.E アプリを確認する習慣づくりを通じて、会員様一人ひとりのウェルネス実現をサポートしてまいります。

3. 今後の展開

当社は、今後も提供価値の更なる拡充を図り、会員様一人ひとりのライフスタイルに寄り添ったサービスの充実を図ってまいります。

また、AI ヘルスケアオートメーションによる分析・提案と、店舗における運動環境およびスタッフによるサポートを組み合わせることで、デジタルとリアルの双方の特長を生かしたトータルウェルネスサービスの提供を行ってまいります。

今回のアップデートはその一環であり、あわせてアプリの持続的な利便性向上と利用シーンの拡大にも努めてまいります。

以 上